

SDGsは、貧困や飢餓、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、17の目標を掲げ、2030年までの達成をめざして世界各国で取り組みが進められています。

SDGs17の目標

- 目標1** 【貧困】あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- 目標2** 【飢餓】飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- 目標3** 【保健】あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を保障し、福祉を促進する。
- 目標4** 【教育】全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標5** 【ジェンダー】ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び少女のエンパワーメントを行う。
- 目標6** 【水・衛生】全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を保障する。
- 目標7** 【エネルギー】全ての人々に安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを保障する。
- 目標8** 【経済成長と雇用】包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセントワーク）を促進する。
- 目標9** 【インフラ、産業化、イノベーション】強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- 目標10** 【不平等】各国内及び各国間の不平等を是正する。
- 目標11** 【持続可能な都市】包摂的で安全かつ強くしなやか（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- 目標12** 【持続可能な消費と生産】持続可能な生産消費形態を確保する。
- 目標13** 【気候変動】気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- 目標14** 【海洋資源】持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 目標15** 【陸上資源】陸域生態系を保護、回復、持続可能な利用を推進し、持続的に森林を管理し、砂漠化に対処し、土地の劣化を阻止・逆転させ、生物多様性の損失を阻止する。
- 目標16** 【平和】持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- 目標17** 【実施手段】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

SDGsの大きな特徴として、「誰一人取り残さない」という精神がうたわれています。

これは、相互扶助のもと、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現をめざすJAの理念と共に通るものであり、JAの多くの事業・活動がSDGsの達成に貢献しています。



再資源化により、CO₂の発生を抑制し「地域環境を改善」するとともに、売却益を「世界の子どもたちにワクチンを寄贈」などに寄与することを目的として取り組んでいます。

「エコキャップ運動」 ペットボトルキャップ収集活動



「おやさいづくり出前講座」食農教育活動



農業体験を通じて農業が担う様々な価値や食の大切さを学んでもらうことを目的として食農教育活動を実施しています。

三重県警察認定「子ども安全・安心の店」見守り活動



登校時の見守り・保護活動による地域に密着したJAだからできる地域貢献活動により、子どもが安全で安心して生活できる地域社会の創造に協力しています。

JA津安芸では、これからもSDGs達成に向け、JAの事業・活動を通じて貢献していきます。



より良い社会の実現をめざしてJAにできること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



近年、SDGs（エスティジーズ）という言葉が世界中で注目されています。SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称で国連で採択された世界共通の目標であり、世界各国、日本においても取り組みが進められています。